

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公表番号】特表2016-521524(P2016-521524A)

【公表日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-043

【出願番号】特願2016-513022(P2016-513022)

【国際特許分類】

H 04 W	36/28	(2009.01)
H 04 W	88/06	(2009.01)
H 04 W	84/12	(2009.01)
H 04 W	72/04	(2009.01)
H 04 W	4/00	(2009.01)

【F I】

H 04 W	36/28	
H 04 W	88/06	
H 04 W	84/12	
H 04 W	72/04	1 1 1
H 04 W	4/00	1 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月23日(2017.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)によるワイヤレス通信の方法であって、

第1の無線アクセス技術(RAT)と第2のRATとにより前記UEとソース基地局との間の通信を確立することと、

前記UEと前記ソース基地局との間の前記通信において前記第1のRATと前記第2のRATとの間の結合を識別することと、

前記UEが、前記第1のRATのためのハンドオーバプロシージャが行われたか、または切迫していると決定したことに応答して、前記第1のRATと前記第2のRATとの間の前記識別された結合に基づいて、前記第2のRATのためのハンドオーバプロシージャをターゲット基地局に適応させること、ここにおいて、前記適応させることは、前記第1のRATのためのハンドオーバイベントの検出に応答して、前記第2のRATのためのハンドオーバイベントを開始するように前記UEを構成することを備える、と、

を備える方法。

【請求項2】

前記第1のRATと前記第2のRATとの間の前記結合を識別することは、

前記第1のRATと前記第2のRATとにより前記UEと前記ソース基地局との間で通信されるネットワークトラフィックが、少なくとも1つの同じペアラによってサポートされると決定すること、

を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記UEのハンドオーバが、現在のレートで前記第1のRATと前記第2のRATの両

方により前記少なくとも 1 つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラフィックを通信し続ける前記 U E の能力に影響を及ぼすことになると決定すること、  
をさらに備え、

ここにおいて、前記ハンドオーバプロシージャを前記適応させることは、前記ハンドオーバが、前記現在のレートで前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T の両方により前記少なくとも 1 つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラフィックを通信し続ける前記 U E の前記能力に影響を及ぼすことになるという前記決定に応答する、請求項 2 に記載の方法。

#### 【請求項 4】

前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を識別することは、  
前記第 2 の R A T の少なくとも 1 つのキャリアと前記第 1 の R A T の少なくとも 1 つのキャリアとのキャリアアグリゲーションを識別すること、または、

前記ソース基地局が、前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T とに関連付けられたコロケート要素を備えると決定すること、  
を備える、請求項 1 に記載の方法。

#### 【請求項 5】

前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を識別することは、  
前記 R A T のうちの 1 つで前記ソース基地局からユニキャストメッセージを受信すること、前記メッセージは前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を示し、または、

前記 R A T のうちの少なくとも 1 つで前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を広告するブロードキャストメッセージを受信すること、  
を備える、請求項 1 に記載の方法。

#### 【請求項 6】

前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントのターゲット基地局が少なくとも 1 つの所定の基準を満たすという決定に応答して、前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントを開始するように前記 U E を構成すること、ここにおいて、前記少なくとも 1 つの所定の基準は、前記第 1 の R A T のための前記ハンドオーバイベントのターゲット基地局と前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントの前記ターゲット基地局とが前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との前記結合をサポートするという決定を備える、

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

#### 【請求項 7】

前記第 1 の R A T のための前記ハンドオーバイベントの前記ターゲット基地局が前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントの前記ターゲット基地局とコロケートされているという決定に応答して前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントを開始するように前記 U E を構成すること

をさらに備える、請求項 6 に記載の方法。

#### 【請求項 8】

前記 R A T のうちの少なくとも 1 つ前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバプロシージャを適応させることは、

前記第 1 の R A T または前記第 2 の R A T で前記ソース基地局から受信されたメッセージに基づいて前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントを開始するように前記 U E を構成すること、

を備える、請求項 1 に記載の方法。

#### 【請求項 9】

前記ソース基地局から受信された前記メッセージは前記第 1 の R A T のための前記ハンドオーバイベントに応答する、請求項 8 に記載の方法。

#### 【請求項 10】

前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバプロシージャを適応させることは、

前記第2のRATのためにデフォルトハンドオーバプロシージャを抑圧するように前記UEを構成すること、  
を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記第2のRATのための前記ハンドオーバプロシージャを適応させることは、  
チャネル測定値を取得すること、または前記ソース基地局に測定報告を与えること、の  
うちの少なくとも1つを実行するように前記UEをトリガするように構成された測定イベ  
ントのセットを変更すること、  
を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項12】

前記RATのうちの1つに関連付けられたポートのセットでワイヤレストラフィックを  
送信および受信すること、

をさらに備え、

ここにおいて、前記ハンドオーバプロシージャはポートの前記セットのサブセットのた  
めに適応される、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

ユーザ機器(UE)装置であって、  
第1の無線アクセス技術(RAT)に関連付けられた第1の無線機と、  
第2のRATに関連付けられた第2の無線機と、  
プロセッサと、  
前記プロセッサと電子通信しているメモリと、  
を備え、前記メモリは命令を包含しており、前記命令は、前記プロセッサによって、  
前記第1のRATと前記第2のRATとにより前記UE装置とソース基地局との間の  
通信を確立することと、

前記UE装置と前記ソース基地局との間の前記通信において前記第1のRATと前記  
第2のRATとの間の結合を識別することと、

前記第1のRATのためのハンドオーバプロシージャが行われたか、または切迫して  
いると決定したことに応答して、前記第1のRATと前記第2のRATとの間の前記識別  
された結合に基づいて、前記第2のRATのためのハンドオーバプロシージャをターゲッ  
ト基地局に適応させることと、

前記第1のRATのためのハンドオーバイベントの検出に応答して、前記第2のRAT  
のためのハンドオーバイベントを開始するように前記UE装置を構成することと、  
を実行可能である、UE装置。

【請求項14】

前記メモリは、  
前記第1のRATと前記第2のRATとによる前記UE装置と前記ソース基地局との間  
で通信されるネットワークトラフィックが、少なくとも1つの同じペアラによってサポー  
トされると決定する

ように前記プロセッサによって実行可能である命令をさらに備える、請求項13に記載  
のUE装置。

【請求項15】

前記メモリは、  
前記UE装置のハンドオーバが、現在のレートで前記第1のRATと前記第2のRAT  
の両方により前記少なくとも1つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラ  
フィックを通信し続ける前記UE装置の能力に影響を及ぼすことになると決定するよう  
に前記プロセッサによって実行可能である命令をさらに備え、

ここにおいて、前記ハンドオーバプロシージャを適応させることは、前記ハンドオーバ  
が、前記現在のレートで前記第1のRATと前記第2のRATの両方により前記少なくとも  
1つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラフィックを通信し続ける前  
記UE装置の前記能力に影響を及ぼすことになるという前記決定に応答する、請求項14

に記載の U E 装置。

【請求項 1 6】

ソース基地局によるワイヤレス通信の方法であって、

第 1 の無線アクセス技術 ( R A T ) と第 2 の R A T とで前記ソース基地局とユーザ機器 ( U E ) との間の通信を確立することと、

前記ソース基地局と前記 U E との間の前記通信において前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の結合を識別することと、

前記ソース基地局が、前記第 1 の R A T のためのハンドオーバプロシージャが行われたか、または切迫していると決定したことに応答して、前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記識別された結合に基づいて、前記第 2 の R A T のためのハンドオーバプロシージャをターゲット基地局に適応させること、ここにおいて、前記適応させることは、前記第 1 の R A T のためのハンドオーバイベントの検出に応答して、前記第 2 の R A T のためのハンドオーバイベントを開始するように前記ソース基地局を構成することを備えること、

を備える方法。

【請求項 1 7】

前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を識別することは、

前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T とにより前記ソース基地局と前記 U E との間で通信されるネットワークトラフィックが、少なくとも 1 つの同じペアラによってサポートされると決定すること、

を備える、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記 U E のハンドオーバが、現在のレートで前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T の両方により前記少なくとも 1 つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラフィックを通信し続ける前記 U E の能力に影響を及ぼすことになると決定すること、

をさらに備え、

ここにおいて、前記ハンドオーバプロシージャを前記適応させることは、前記ハンドオーバが、前記現在のレートで前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T の両方により前記少なくとも 1 つの同じペアラによってサポートされるネットワークトラフィックを通信し続ける前記 U E の前記能力に影響を及ぼすことになるとという前記決定に応答する、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合を識別することは、

前記第 2 の R A T の少なくとも 1 つのキャリアと前記第 1 の R A T の少なくとも 1 つのキャリアとのキャリアアグリゲーションを識別すること、または、

前記ソース基地局が、前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T とに関連付けられたコロケート要素を備えると決定すること、

を備える、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記 R A T のうちの少なくとも 1 つ前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバプロシージャを適応させることは、

前記第 1 の R A T のための前記 U E の前記ハンドオーバイベントを検出することと、

前記第 1 の R A T のための前記ハンドオーバイベントに応答して、前記 U E にメッセージを送信すること、前記メッセージは、前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントに関連付けられたターゲットを識別する、と、

を備える、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記第 1 の R A T のための前記ハンドオーバイベントのターゲットと前記第 2 の R A T のための前記ハンドオーバイベントの前記ターゲットとが前記第 1 の R A T と前記第 2 の R A T との間の前記結合をサポートするという決定にさらに応答して前記 U E に前記メ

セージを送信すること、  
をさらに備える、請求項2\_0に記載の方法。

【請求項2\_2】

前記ハンドオーバプロシージャを前記適応させることは、  
チャネル測定値を取得すること、または前記ソース基地局に測定報告を与えること、の  
うちの少なくとも1つを実行するように前記UEをトリガするように構成された測定イベ  
ントのセットを変更するために前記UEと通信すること、  
を備える、請求項1\_6に記載の方法。

【請求項2\_3】

測定イベントの前記セットを変更することは、  
チャネル測定を実行するか、または前記ソース基地局に測定報告を与えるように前記UE  
をトリガする信号強度しきい値の少なくとも1つの新しい値を構成すること、  
を備える、請求項2\_2に記載の方法。

【請求項2\_4】

前記ハンドオーバプロシージャを前記適応させることは、前記RATのうちの少なくとも  
1つの測定されたネットワーク状態にさらに基づく、請求項1\_6に記載の方法。

【請求項2\_5】

前記ハンドオーバプロシージャを前記適応させることは、前記ソース基地局によって記  
憶されるポリシーまたは前記UEのサービスクラスのうちの少なくとも1つにさらに基づく、  
請求項1\_6に記載の方法。

【請求項2\_6】

前記RATのうちの少なくとも1つはワイヤレスワイドエリアネットワーク(WWAN)  
RATを備え、前記RATのうちの他方はワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)  
RATを備える、請求項1\_6に記載の方法。

【請求項2\_7】

ソース基地局装置であって、  
第1の無線アクセス技術(RAT)に関連付けられた第1の無線機と、  
第2のRATに関連付けられた第2の無線機と、  
プロセッサと、  
前記プロセッサと電子通信しているメモリと、

を備え、前記メモリは命令を包含しており、前記命令は、前記プロセッサによって、  
前記第1のRATと前記第2のRATとで前記ソース基地局装置とユーザ機器(UE)  
との間の通信を確立することと、

前記ソース基地局装置と前記UEとの間の前記通信において前記第1のRATと前記  
第2のRATとの間の結合を識別することと、

前記第1のRATのためのハンドオーバプロシージャが行われたか、または切迫して  
いると決定したことに応答して、前記第1のRATと前記第2のRATとの間の前記識別  
された結合に基づいて前記第2のRATのためのハンドオーバプロシージャを前記RAT  
のうちの少なくとも1つのためのターゲット基地局に適応させることと、

前記第1のRATのためのハンドオーバイベントの検出に応答して、前記第2のRAT  
のためのハンドオーバイベントを開始するように前記ソース基地局を構成することと、  
を実行可能である、ソース基地局装置。

【請求項2\_8】

前記第1のRATと前記第2のRATとで前記ソース基地局装置と前記UEとの間で通  
信されるネットワークトラフィックが、少なくとも1つの同じペアラによってサポートさ  
れると決定する

ように前記プロセッサによって実行可能である命令をさらに備える、請求項2\_7に記載  
のソース基地局装置。

【請求項2\_9】

前記メモリは、前記プロセッサによって、

前記第1のR A Tのための前記U Eの前記ハンドオーバイイベントを検出することと、  
前記第1のR A Tのための前記ハンドオーバイイベントに応答して、前記U Eにメッセージを送信すること、前記メッセージは前記第2のR A Tのための前記U Eの前記ハンドオーバイイベントをトリガする、と、  
を実行可能である命令をさらに備える、請求項2-7に記載のソース基地局装置。